



平成 29 年度の一般会計、特別会計及び各企業会計の 決算審査【決算特別委員会】

今期定例会において、決算特別委員会（各常任委員会から3人、計9人で構成）を設置し、決算審査を行いました。ここでは、審査の過程での主な質疑や意見などについて紹介します。

■ 一般会計

「市長公室」	広報かさま発行事業、ICTによる子育て支援事業の目的と成果、企業誘致推進事業の内容、地域デザイン調査研究事業の今後についての質疑など
「総務部」	本庁舎管理事業の事業内容、自主防災組織資機材等整備事業の補助基準、防災無線管理事業の事業内容、財産等差押えに関する質疑など
「市民生活部」	ふるさとづくり寄付金の収支状況、地域ポイントカード（KapoCa）の利用状況と運用に関する質疑など
「保健福祉部」	遺族会事業の内容と今後のありかた、放課後児童クラブの延長保育事業、介護健診ネットワークシステムの利用に関する質疑など
「産業経済部」	栗拾い機の開発状況、農地集積協力事業の内容、笠間焼国際交流事業および北米販路拡大事業の成果と今後の展望についての質疑など
「都市建設部」	橋梁点検の内容、移住体験施設の利用状況、市街地活性化推進事業の補助内容に関する質疑など
「教育委員会」	老朽化した施設の修繕について、笠間小中学校スクールバスの事業内容、指定文化財保護事業の内容、図書館での新刊図書購入の考え方に関する質疑など
「消防本部」	消防団の出動手当、光熱水道費の対前年比約1割減の理由に関する質疑など

■ 特別会計

「国民健康保険特別会計」	国保加入世帯1世帯あたりの平均所得および課税額に関する質疑など
「介護保険特別会計」	サービス事業費における不用額に関する質疑など

■ 公営企業会計

「市立病院事業会計」	外来者患者数に関する質疑など
「水道事業会計」	県水単価が下がったことによる営業面への影響、水道事業の将来の展望に関する質疑など

委員会、本会議での報告・採決

3日間にわたり執行部との間で活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、審査を終了しました。審査の結果、認定第1号については賛成多数、認定第2号ないし第4号については全会一致によって、すべての平成29年度決算を認定しました。

定例会最終日（9月21日）の本会議で野口 圓委員長が審査結果を報告し、採決の結果、委員会の報告のとおり認定されました。

決算特別委員会メンバー

委員長	野口 圓	副委員長	田村 泰之
委員	村上 寿之	委員	石井 栄
委員	小松崎 均	委員	畑岡 洋二
委員	石田 安夫	委員	西山 猛
委員	萩原 瑞子		